

(乙の4)

(工作物の新築、改築、除却)

1 河川の名称

2 目的

3 場所

4 工作物の名称又は種類

5 工作物の構造又は能力

6 工事の実施方法

7 工期

【記載例】

(乙の4)

(工作物の新築、改築、除却)

- 1 河川の名称 信濃川水系 信濃川 左岸
- 2 目的 一戸建て住宅新築のため
- 3 場所 ○○市○○町○○番地先
- 4 工作物の名称又は種類 専用住宅 1棟
- 5 工作物の構造又は能力
住宅 間口○○.○m、奥行○○.○m
木造2階建 コンクリート基礎
- 6 工事の実施方法 官民境界から○○.○○m離れた位置より地盤面から
○○mまで掘削し、コンクリート基礎を施工する。
詳細は申請書添付図書のとおり。
- 7 工期 許可の日から 令和○○年○○月○○日まで

【記載要領】

○河川の名称

水系名、河川名、左右岸別（左右岸にまたがる場合には記載の必要はありません）を明記してください。

○目的

法第55条の許可に係る行為の目的と、当該許可に係る工作物のために必要とする目的とが一致するよう、「（ビルや一戸建て）新築のため」「駐車場設置のため」などと記載してください。

○場所

「字○○番地先」まで明記してください。なお、複数の地先となる場合は該当を全て記載してください。

○工作物の名称又は種類

主要な工作物の名称又は種類を記載してください。

○工作物の構造又は能力

主要な工作物の構造又は能力を記載してください。

○工事の実施方法

工事の実施にあたっての治水上の措置、工事にあたっての仮設物の設置や施工の順序等について、工事工程表に照応するよう具体的に記載してください。

なお、施工計画書などの別紙に記載する場合、「申請書添付図書のとおりに」と記載しても可能です。

○工期

特別の事情を除き、なるべく工期のみの変更が無いよう、工事工程表を的確に作成し、工期を決定して記載してください。なお、工期内に完成検査を実施する必要があるため、ある程度余裕を持った工程を作成してください。

【添付図書】

○事業計画概要書

新築等に係る事業の計画の概要を具体的に記載してください。

○位置図

縮尺は1/50,000程度とし、申請箇所を○印で表示し、「申請箇所」と赤書きしてください。

○実測平面図

- ・縮尺は1/100～1/3,000の範囲としてください。
- ・申請に係る行為によって影響があると判断される区域まで含めて実測してください。
- ・申請範囲、河川区域、河川保全区域、官民境界を赤線で必ず明示してください。
- ・必要に応じ、横断面図と比較できるように測線（測点）を記入してください。

○実測横断図

- ・縮尺は状況に応じ、1/100～1/1,000としてください。
- ・平面図同様、申請範囲、河川区域、河川保全区域、官民境界を赤線で必ず明示してください。
- ・堤防に近接して工作物を設置する場合は、必ず、堤防の線形を含めた図面を作成してください。

○工作物の設計図（構造図）

- ・設計図の内容は、次のとおりとしてください。なお、工作物の種類によっては不要な図面もありますので、ご不明な場合は窓口にご相談ください。また、縮尺はあくまで目安ですので、図面構成により変更することは構いません。

工作物の平面図

工作物の正面図

工作物の側面図

工作物の構造図（縮尺 1/50～1/200）

- ・正面図又は側面図は、申請工作物と堤防との位置関係が明らかになるように作成してください。
- ・図面には整理番号を付し、図面袋に入れる場合は表側に添付図面の一覧表を貼付してください。

○工事の実施方法を記載した図書

工事の実施上の問題点とその対策を記載した図書を添付してください。

○工程表

申請内容に沿って工種別に作成してください。

○工事費概算書

全体の金額のみの記載でも可能です。

○土地の権原に関する図書

申請箇所の土地の権利関係を確認するため、下記の書類を地方法務局等から入手してください。

- ・不動産登記法第14条地図またはこれに準ずる図面（公図）の写し
- ・土地登記簿の謄本または抄本
- ・その他必要に応じて、売買契約書の写し、賃貸借契約書の写しなどを添付してください。

○他の行政機関の許認可書の写し

申請に係る行為または事業に関し、他の行政機関の許可・認可などの処分を受けることを必要とする場合、許可書・認可書等の写し又は許認可等を受ける見込みがあることを示す書面（申請書の写しなど）を添付してください。

○現地写真

○前回許可書の写し

更新申請及び変更申請の場合のみ添付してください。